R&Dフェーズ｜開発　**実用化時期**｜FY27-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#C21

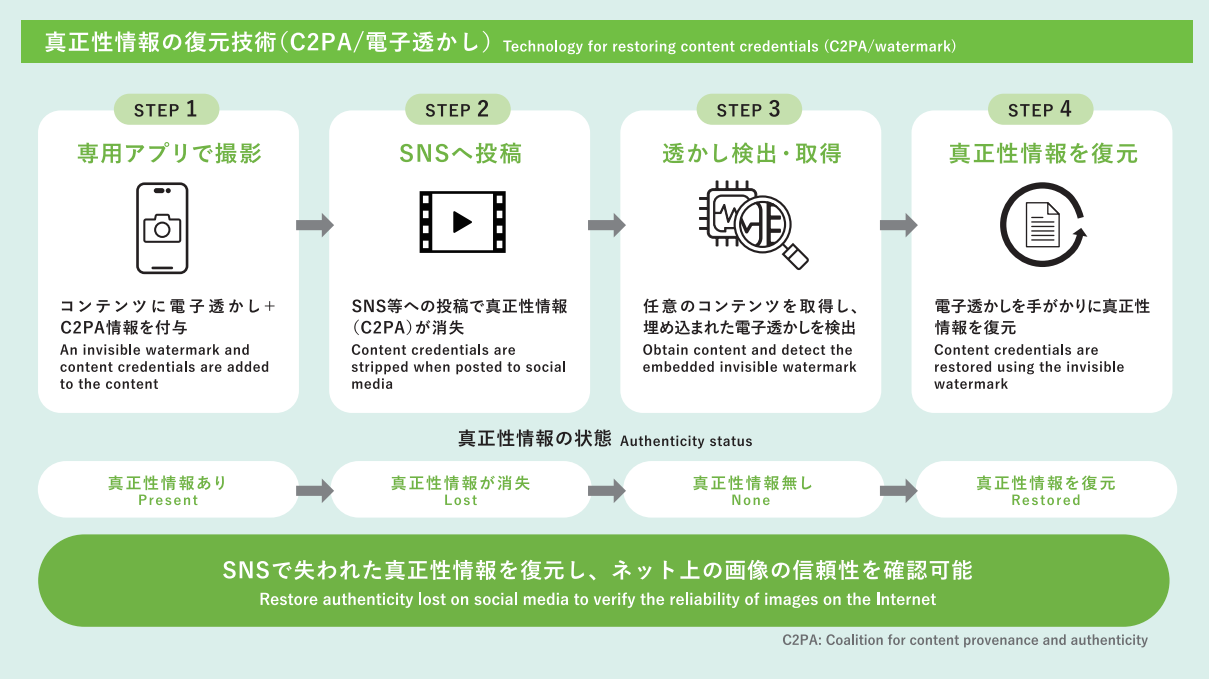
#レジリエンス#安心・安全#ガバナンスと信頼性

真正性情報の付与と電子透かしによる復元技術

SNS投稿等で消失した画像の来歴情報を電子透かしから復元し、真正性を検証します

技術課題・ゴール

災害現場等で撮影されたコンテンツの流通において、SNS投稿時の圧縮等によりC2PAをはじめとする真正性情報が消失する課題があります。本技術は、画像自体に埋め込んだ電子透かしを手がかりに、消失したC2PA情報を高精度に照合・再付与します。これにより、SNS等を経由した情報であっても真偽や由来の検証を可能とし、自治体やメディアにおける信頼性の高い情報活用に貢献します。



技術ポイント

要素技術

・電子透かしとC2PA情報を組み合わせたコンテンツへの情報付与技術
・電子透かしをkeyとしたデータベース検索による真正性情報の復元アルゴリズム

市中技術差異点

・撮影・生成時に改ざん耐性の高い真正性情報（C2PA等）を確実に付与できる
・SNS等の投稿過程で失われたC2PA情報を、電子透かしの照合により再付与できる

適用ビジネス/ユースケース

コミュニケーションサービス

SNSやニュースメディア等に投稿・二次利用された画像・動画コンテンツに対し、消失したC2PA等の真正性情報を電子透かしから復元することで、フェイクメディアの拡散防止やメディアコンテンツの著作権・由来証明に活用します。

出展組織
株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部
NTTドコモビジネス株式会社

社外連携先
株式会社Spectee

関連情報URL
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/taisakugijutsu_fy2026.html
本事業は、総務省『インターネット上の偽・誤情報等への対策技術の開発・実証事業』の一環として実施しています。

お問い合わせ：株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部